



1

はじめに

- 視察：令和7年(2025年)7月14日(月)
- 参加者：県教委1名, 諏訪実4名, 岡工4名参加
- 目的：新校のモデル検討のため、先進開設された総合技術高校を視察
- 視察校
 - 埼玉県立 新座総合技術高校 (昭和58年4月開設)
 - 埼玉県立 越谷総合技術高校 (昭和61年4月開設)

2

はじめに

- 本報告の視点：
 1. 両校の特色
 2. 地域連携
 3. 校内学科間連携
 4. 総合選択・ミックスHR
 5. 総合技術高校の課題

3

新座総合技術高校の特色

- 異分野の融合：複合型専門高校の先駆けとして、全国で初めての複合型専門高校として開校
- 多様な選択肢：工業、商業、家庭の3分野にわたる6学科
(電子機械科、情報技術科、デザイン科
総合ビジネス科、
服飾デザイン科、食物調理科)を設置
- 総合選択や課題研究で他専門科の指導を行っている。



4

新座総合技術高校の特色

- 社会人講師の活用：その道のプロである社会人講師 3 3 名から直接指導を受けている。
- デザイン専攻科：高校卒業生を対象としたデザイン専攻科を設置しており、より専門的な学びを継続できる環境を提供している。
(小学校と協力：シャッターアート)
- ミックスホームルーム：1年生のクラスは、異なる学科の生徒で構成されており、学科の枠を超えた交流を通じて多様な価値観に触れる機会がある。



5

新座総合技術高校の特色

- ノーチャイム制：生徒が自ら時間を管理し、主体的に行動できるように、授業の開始・終了を知らせるチャイムがない。
- 資格・検定の取得：各学科で、職業に役立つ様々な資格や検定の取得を積極的に推奨している。
- 地域や企業との連携：地域のイベントポスターをデザインしたり、企業と連携して商品開発を行っている。
(例 アース製薬ポスター、ローソンとの共同開発 レモンエクレア、小中連携 ものづくり教室)
- 就職・進学実績：約21%の生徒が就職、約77%が進学（専攻科4%）しており、専門分野を活かした多様な進路を実現しています。



6

越谷総合技術高校の特色

- 多岐にわたる専門分野：工業、商業、家庭の3分野にわたる6学科
(電子機械科、情報技術科、流通経済科、情報処理科、服飾デザイン科、食物調理科)を設置
- 高度な専門教育：各学科で専門的な知識と技術を習得できるカリキュラムが組まれている。
- 実践的な学習：校内での実習に加え、企業での現場実習や外部講師による講義を積極的に取り入れている。



7

越谷総合技術高校の特色

- ミックスホームルーム：1年生では、学科を混合したクラス編成により、異なる分野の生徒との交流を深めている。
- 資格取得：各学科で、職業に役立つ様々な資格や検定の取得を奨励している。
- 就職・進学実績：約36%の生徒が就職、約60%が進学しており、専門分野を活かした多様な進路を実現しています。



8

両校の地域連携

- 新座総合技術高校：
 - 近隣小学校，特別支援学校との交流事業
 - 中学生プログラミング講習会
 - 地域イベントの協力
 - 学科の特色を活かしたキャリアプランニング（インターンシップ）を6日間実施（2年生）
 - ローソン、ミニストップとの商品共同開発企画



9

両校の地域連携

- 越谷総合技術高校：
 - 企業（例「I K E A」社員食堂等）
 - 大学（東洋大学学生食堂等）
 - 専門学校（日本 電子専門学校等）
- との連携
 - 課題研究で地域と連携（イベントへの参加企業と共同開発）
 - 2年生全員が行う企業実習（1週間）
実際の体験を重視する取組



10

両校の地域連携

両校は、大学・専門学校・企業等と連携した取り組みを積極的に行っています。

これは、専門性の高い教育を通じて、生徒が将来社会で活躍できる機会を創出するための重要な要素です。

新校においても、諏訪地域における大学や企業との連携を密にし、地域産業のニーズに応じた人材育成を目指すことが不可欠であり、地域社会や産業界と密接に連携することで、実践的な学びを深め、生徒の社会貢献意識を育めることが想定される。

11

校内学科間連携と総合選択

- 校内学科間連携：
 - 新座：工業系と商業系の生徒が協働するプロジェクト
工業系の生徒が商業系の学習でプレゼンテーション技術を学んだり、商業系の生徒が工業系の設備を使って商品デザインを行っている
 - 越谷：「建築科」と「食物調理科」が共同で実習室をデザインしている

12

校内学科間連携と総合選択

- 総合選択:
 - 両校とも、学科の枠を超えて科目を自由に選択できる制度を導入
 - 両校は複数の専門分野が共存する環境にあり、これにより、学科の枠を超えた交流や共同プロジェクトが生まれやすく、生徒は多様な価値観に触れ、幅広い視野を養うことができる。

13

ミックスHR

- ミックスHR:
 - 1 年次に異なる学科の生徒で構成されているホームルーム
- 目的:
 - コミュニケーション能力の向上
 - 多様な視点や価値観の育成
 - 学年全体の一体感醸成
- 授業外の交流機会を設けることで、生徒の協働性を高め、人間力を育んでいる
- 生徒の視野を広げ、多様な進路に対応するために有効な手法と考えられる。これらの仕組みは、学科の垣根を越えたコミュニケーションを促進する効果が期待できる。

14

校内学科間連携・総合選択制・ミックスHR

複合型専門高校の特性を活かした、
校内学科間連携・総合選択制・ミックスHRの導入は、
生徒の視野を広げ、多様な進路に対応するために有効な手法と考えられる。
これらの仕組みは、学科の垣根を越えたコミュニケーションを促進する効果が期待できる。

15

総合技術高校の課題

- 専門性の確保:
 - 多様な分野を持つ一方で、各専門分野を深く掘り下げるための時間や施設・設備の確保
- 教員間の連携:
 - 異なる専門を持つ教員同士がスムーズに連携するための体制づくり
- 生徒の多様なニーズへの対応:
 - 一人ひとりの興味・進路に合わせたきめ細かい指導体制の構築

16

新校へのまとめ

1:「総合」の強みを活かす

分野横断的な学習プログラムや、ミックスHRのような交流機会を導入

新校では、岡谷工業と諏訪実業の既存学科の学びを融合し、新たな連携カリキュラムを積極的に構築して、分野横断的な学びを積極的に取り入れ、生徒の視野を広げる機会を提供する

17

新校へのまとめ

2:「深化」と「ブランド」を追求する

- 地域ニーズに応じた専門分野を学ぶことができることを、新校の強みとする
- 教員の専門性向上: 専門分野の指導を行う教員のスキルアップや、社会人講師の積極的な活用が必要

3: 柔軟な選択制度を構築する

- 生徒が主体的に学びを設計できるカリキュラムを編成

18

新校へのまとめ

4: 教員間の連携を促進する

- 分野を超えた協力を可能にする環境と体制を構築

5: 地域と産業界との連携を強化

- 地域のニーズに応え、企業と連携した実践的な教育を展開し、生徒のキャリア形成を支援する

19

総合技術高校 視察報告



岡谷諏訪総合技術高校 再編実施計画懇話会

20

長野商業定時制の単位制

- ・クラスごとの授業やH Rがない。
- ・学年の区分がない、一人ひとりの時間割が違う。



【例】

	火	水	木	金
1時限 15:20～16:05 16:05～16:50	数学Ⅰ 前半	美術Ⅰ ペーパーワーク ショー	情報Ⅰ	家庭総合Ⅰ
1時限 17:00～17:45 2時限 17:45～18:30	英語コミュニ ケーションⅠ	公民	英語コミュニ ケーションⅡ	数学Ⅱ 後半
18:30～19:00 3時限 19:00～19:45 4時限 19:45～20:30	歴史総合	歴史総合	現代の 国語	書道文化 保健体育 (前期) 総合探究Ⅰ (後期)

時間	月	火	水	木	金
15:20 - 16:05	古典探究Ⅰ				
16:05 - 16:50					
16:50 - 17:35					
17:35 - 17:45	総合 経済論	ファッションの造形基礎	フードデザイン	総合的な探究の時間A	
17:45 - 18:30					
18:30 - 19:00	経費(弁当)				
19:00 - 19:45	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	キャリアアップ	ビジネス基礎	
19:45 - 20:30	体育Ⅰ	体育Ⅱ			

5

施設について

- ・生徒の動線・・・本校と同じく工夫が伺える。
- ・定時制保健室・・・本校より充実している。
- ・学習室・・・学年やＨＲがなく、時間割が個別のため生徒が空き時間に過ごせる場所。
本校にはない。
- ・面談室・・・本校、相談室はあるが場所が遠く不便である。
- ・食堂・・・かなり広い。給食以外にも、行事イベントや休憩場所として利用している。本校にはない。

本校にはない。

場所が遠く不便である。

行事イベントや
本校にはない。

7

- ・行事は任意参加であるが、一定回数以上の参加が必要である。
- ・特設授業を取れば、3年で卒業できる。
- ・修業年限は3から6年である。
- ・半期ごとの単位認定である。

時刻	月	火	水	木	金
15:20～16:05	数学Ⅰ 前半	美術Ⅰ	パソコンクラブ タイマー	情報Ⅰ	家庭総合
17:00～17:45	英語コミュニケーション Ⅰ	公民	地理総合	英語コミュニケーション Ⅱ	数学Ⅱ 後半
18:30～19:00	経典(共通)				
19:00～19:45	歴史総合	歴史総合	現代の 国語	食文化	保健総合(新制) 総合探究(旧制)
19:45～20:30	体育Ⅰ	体育Ⅰ			

時刻	月	火	水	木	金
15:20 - 16:05 特設 16:05 - 16:50 1時間	古典探イ				
17:00 - 17:45 2時間	政治・経済口	ファッション 造形基礎	フード デザイン	総合的な 探イの時間 A	
17:45 - 18:30 45分					
18:30 - 19:00 30分	授業(共通)				
19:00 - 19:45 45分	英語コミュニ ケーションⅠ	英語コミュニ ケーションⅠ	キャリア アップ	ビジネス 基礎	
19:45 - 20:30 45分	体育Ⅰ	体育Ⅰ			

6

視察を終えて

- ・生徒の様子は、不登校の経験がある生徒や外国由来の生徒など、抱えている課題は同じである。
- ・授業の様子は、本校とほぼ同じである。
- ・制度の違いを詳しく知ることができた。
今後も他校を参考にしながら、本校の実情も踏まえて制度の研究をしていきたい。
- ・施設の重要性をあらためて認識する機会となった。

8